歯科情報の利活用及び標準化普及事業概要

第1回歯科情報の利活用に関するワーキンググループ

平成30年2月15日(木)

資料1

~H28年度

平成30年度予算案:9,097千円 平成29年度予算額:9,280千円

第1回歯科情報の利活用および標準化普及に関する検討会

平成29年7月19日(水)

資料1 (改)

H25~28年度 **歯科診療情報の標準化に関する実証事業**

【成果】

- ①口腔状態標準データセットを元に「口腔診査情報標準コード仕様」の策定を行った。
- ②ベンダー各社に「口腔診査情報標準コード仕様」を提供し、<u>レセプトコンピューター用プログラム開発</u>を 行い、実装に向けた課題等を明らかにした。

実用化に向けた発展的事業展開

本事業

H29年度

- ①歯科情報の標準化普及事業
- ②歯科情報の利活用

【目的】

①前事業の未完了部分を実施するとともに、モデル地区(2地域程度)における「口腔診査情報標準コード仕様」に準拠した電子カルテ等の実証を目的とする。モデル事業により「口腔診査情報標準コード仕様」の修正及び電子カルテ等の改良を行う。また、歯科医療機関における身元確認作業の効率化・迅速化を行うための体制を整備する。

②「口腔診査情報標準コード仕様」を用いた新たな 利活用方法、ならびにICTを用いた新たな連携方法 について検討する。

【予想される結果】

- ①「口腔診査情報標準コード仕様」に準拠した電子カルテ等のモニタリングにより、仕様及び電子カルテ等の課題が明らかとなり、その改良が行われる。
- ②「口腔診査情報標準コード仕様」を用いた新たな 利活用方法、ならびにICTを用いた新たな連携方法 が具体的になり、期待される効果や課題等が明らかに なる。

H30年度

- ①歯科情報の標準化普及事業
- ②歯科情報の利活用

【目的】

①前年度とは異なる地域を選択し、モデル事業を行い更に「口腔診査情報標準コード仕様」に準拠した電子カルテ等の実証を行うことを目的とする。また、前年度に引き続き、身元確認を効率化・迅速化するための体制を整備する。

②前年度に検討した新たな歯科情報の利活用方法に基づき、具体的な方策を検討する。

【予想される結果】

①H29年度と同様に、「口腔診査情報標準コード 仕様」に準拠した電子カルテ等のモニタリングにより、 仕様及び電子カルテ等の改良を行い、それらが概 ね完成型となる。歯科医療機関における歯科情報 及び警察等が所有する身元不明者の歯科情報が 標準化された状態で利用可能となり、身元確認作 業の効率化・迅速化が可能となる。

②検討された具体的な歯科情報の利活用方策を実施するため、システム構築に向けての課題が明らかになる。

H31年度

- ①歯科情報の標準化普及事業
- ②歯科情報の利活用
- ③医療分野の標準規格取得

【目的】

- ①前年度とは異なる地域を選択し、H30年度と同様にモデル事業を行うことを目的とする。
- ②前年度に検討した新たな歯科情報の利活用方 策を実施する上に必要な議論を行う。
- ③「口腔診査情報標準コード仕様」の医療分野に おける標準規格取得を目的とする。

【予想される結果】

- ①「口腔診査情報標準コード仕様」及びそれに準 拠した電子カルテ等が完成型となる。
- ②国民や医療従事者にとって有益な歯科情報の利 活用に関する理解が深まり、全国普及へと繋がる。
- ③「口腔診査情報標準コード仕様」の医療分野に おける標準規格取得に向け、準備を整え、課題等 が明らかとなる。

予定。進捗状況や議論の展開で変更となることあり。

歯科情報の利活用及び標準化普及事業実施体制

歯科情報の利活用及び標準化普及に関する検討会

歯科診療情報の標準化に関する検討会の後継会議体、庶務は医政局歯科保健課が担当



下部WG



検討結果報告

歯科情報の利活用に関するWG

有識者(歯科医学、医学、医療情報、情報技術等の専門家)による会議体

- 国民にとって必要な情報の選別
- 医療従事者(他職種)にとって必要な情報の創出
- 保健医療における歯科の役割を検 討
- 保健医療分野における医療情報利 活用推進施策との整合性を図る
- 新たな利活用方策によってもたら される効果や課題の検討

モデル地区

「口腔診査情報標準コード仕様」に準拠した電子カルテ等 の配備及びモニタリング 事業実施結果分析

連携

事業内容検討





事業報告

事業受託者(日本歯科医師会)

歯科情報の標準化普及事業WG

事業受託者が設置する、有識者(歯科医学、 歯科法医学、医療情報、情報技術等の専門 家、法律家、警察庁、厚生労働省等)によ る会議体

- 身元確認作業の効率化・迅速化 歯科医療機関の歯科情報及び警察等が所 有する身元不明者の歯科情報の標準化、 身元検索アプリケーションの開発等
- 「口腔診査情報コード仕様」の完成及び 医療分野における標準規格取得
- 事業の実施・管理・運営